



学校創立143周年

百年松

阿木名小中学校便り 令和4年10月24日発行

◇校訓「かしこく やさしく たくましく」
あ 明るく元気なあいさつができる子ども
ぎ ぎりぎりまであきらめず努力する子ども
な 仲よく笑顔いっぱいの子ども
 ~花いっぱい、元気いっぱい、笑顔あふれる阿木名っ子~



阿木名小中学校

これから先へ・・・

校長 井上 泉



神様は人間にもものを覚える力、考える能力を与えてくれました。しかも、これは使えば使うほど発達する仕組みになっています。ですから私たち人間は、進歩、向上する努力を続ける必要があります。人間としての向上心をもっていない人は、自立心もない人で、いつまでも他人に頼って生きていかなければならないことになります。

自分で行きたいところにいけない、人の後をついて人の行くところばかり。

生きたいように生きられない、人が言うことしかできない、人の言いなり。これではあまりおもしろくない生き方でしょう。

また、勉強の努力もしないで「頭が悪いからいくら勉強してもムダだ」と思っている人がいます。これは間違いです。確かに人には覚えることや理解する力が「早い人」と「遅い人」がいることは事実です。でも小・中学生の段階では、脳はまだまだ発達の途中です。問題は努力をするか、しないかです。

例えばテストで「よい点」を取る人をよく観察すると、授業を熱心に聞き、予習・復習をしっかり取り組む人や、コツコツ努力をしている人たちです。そしてそのごほうびとして、「よい結果」がでたり、希望する高校へ進学できたりするのだらうと思います。

もちろん勉強だけではありません。毎日の小さな係活動や行事。みんなが中心となる児童会・生徒会や学級の専門部活動…。友だちとの交流、一生懸命になる活動などなど…。

でも、その全てが必ずしも自分の思い描いた通りや結果に結びつくとは限らないものです。だったら努力をしたって…と考えてはいけません。その努力をした力が「考える力」「たくましい心」「人を思う優しさ」「立ち上がる強い意思」「我慢」などにつながり、何かしらを得ることにつながります。

さらには、この努力も「今日」取り組んだ結果が「明日」でるものではないのです。それこそ目先のことだけにこだわる、「一夜漬け」では、自分のものとして残らないものです。スポーツの世界などでも明日の大会に向けて、前の日に懸命に練習しても翌日には疲れが残るだけです。最終目標は、テストの点数や高校入試・大会で優勝するだけではありません。自分の力を発揮できる仕事などにつき、多くの仲間と何かを成すことです。



行事やテストが終わり、一喜一憂しそれだけで終わる。これでは向上しません。人として与えられた力を十分に発揮するためにも、今、死にものぐるいで学習することや多くのいろいろな経験をするのが何よりも大切です。

私たち周りの大人も、人生の先輩として、多くの経験を語り、励まし、これから先の子どもたちの一助になりたいものです。

受賞おめでとう!!

【県図画作品展コンクール】

県特選 小学6年 里山 理奈

【県児童生徒作文コンクール】

地区特選 小学5年 川崎 真菜美

小学6年 古庄 志尽

地区入選

小学1年 朝田 晟介

小学2年 中島 望羽

中学2年 林 妃菜乃

中学3年 里山 玲那

【田中一村絵画コンクール】

入選 小学2年 内尾 尚馬

小学3年 朝田 琉ノ介

小学3年 里山 眞優

小学4年 中島 麻矢

小学5年 玉利 愛樹

小学5年 徳永 瑛人

中学1年 嘉原 早乃

中学2年 坂元 颯翔

中学3年 坂元 瑛翔

中学3年 嘉原 小陽

